

INFOPRO2016 プログラム

日	時間	テーマ	A会場			時間	テーマ	B会場			テーマ	C会場		
12/1 (木)	12:50-13:50	3i	A11	高知県へようこそ！										
			A12	次世代ニーズを予測するための解析手法の研究										
	14:00-15:30	3i	A13	新規課題抽出からの商品開発提案		14:00-15:30	学術雑誌	B13	Journal Article Tag Suite (JATS) に「セマンティック」、「強調」のタグ導入の提案	時実 象一	図書館・教育	C13	中国における新たな読書の場としての特別読書空間 (Special Reading Space) の特徴と現代的な意義	長塚 隆
			A14	営業活動支援のための情報提供の検討				B14	MEDLINE収録 国内医学雑誌の経年分析 (第3回)	松田 真美		C14	ライブラリーの外へ出て、潜在的利用者へアプローチする	河合 郁子
			A15	『見せる場』としての東京オリンピック				B15	電子ジャーナル記事チェックへの Schematron の利用	時実 象一		C15	学生が社会人力を養うための情報倫理教育の提案	田中 雅章
	15:40-16:10	ポスターセッション			15:40-16:10	プロダクトレビュー P1-P3			プロダクトレビュー P4-P6					
16:20-17:50	特別講演 西内 啓 氏 (株式会社データビークル 取締役) ビジネスに活かす統計学 - エビデンスに基づく価値創造 -													
18:15-20:00	情報交流会 (食堂)													
12/2 (金)	10:00-12:00	トーク&トーク 「スマホがデフォルトの(ポケモンGo!)時代の情報の信頼性とは(仮)」												
	12:40-13:30	ポスターセッション			13:00-13:30	プロダクトレビュー P7-P9			プロダクトレビュー P10-P12					
	13:40-15:10	特許分析 (1)	A21	特許情報から炭酸飲料市場の変化を解き明かす	渡辺 智美	13:40-15:10	情報解析・分析	B21	たけとり〜次世代研究者エビデンス収集・分析システム	渡邊勝太郎	特許検索	C21	IPCCATを用いた新興国特許庁IPC付与の実態	藤田 明
			A22	特許情報をもとにした開発戦略や知財戦略立案のツールとして「S WOT分析」を活用	竹中 賢治			B22	料理本の巻末索引の調査分析	藤田 節子		C22	韓国特許調査における機械翻訳クレーム検索	田畑 文也
			A23	多様性ディスカッションを通して俯瞰可視化図の作成研究	桐山 勉			B23	KHCoderを使ったクック・ドゥのレシピ紹介文の解析	時実 象一		C23	機械学習を利用した効率的な特許調査方法	安藤 俊幸
	15:20-16:50	特許分析 (2)	A24	KHCODERによる中国特許の分析可能性評価	袁 方	15:20-16:50	アーカイブ	B24	記録映画をまもり、活かして	久米川 正好	データベース	C24	JST情報資産の概要	中西 佳世子
A25			自動ブレーキの周辺特許の動向	平川 雅彦	B25			デジタルアーカイブの継続性と必要性について	嘉村 哲郎	C25		科学技術政策研究へのJREC-IN Portal求人情報の活用を試み	川井千香子	
A26			中国における特許ライセンス情報収集の留意点	伊藤 徹男	B26			日本空襲の記憶と記録	宮本 聖二	C26		オープンデータの取り組みに伴い生じる成果の指定	本田 正美	